

■地域名 上田市 小泉半過

■特徴的な被害対策 集落防護柵の設置、捕獲対策、シカ肉の食肉利用

1 地域の概要

集落戸数	うち農家	加害鳥獣	被害農作物等	備考

3 実施した被害対策の内容

区分	実施に当たって工夫等したポイント	
これまでの経過	<p>特にニホンジカの出没と被害が増加 林務課が進めていた災害に強い森づくりをきっかけに、地元の意識が高まる。 H20 上田市と対策チームで保安林以外の森林の整備の必要性和、捕獲の促進のための狩猟免許の取得について集落役員に説明 H21 集落防護柵を設置 捕獲数が増加してきたことで、捕獲されたシカ等の利用について、地域で関心が高まり、秋祭りに有志でシカ肉のハンバーグを試食品として提供、好評を得る。 対策チームと集落有志で勉強会、先進地の視察調査 H22 防護柵未整備の地区への出没と被害が移動 初心者わな免許取得者に技術講習会開催 食肉利用について施設整備を中心に勉強会開催</p>	
被害対策	生息環境対策	治山事業により、森林整備を実施、耕作地周辺の緩衝帯整備(住民施行)実施
	捕獲対策	地域の有志 5名が狩猟免許(わな)を取得
	防護対策	国の補助事業によりH21 年度に集落の南側に防護柵を設置(約 1Km)
効果	被害状況	防護柵の効果により集落南側の被害は減少したが、北側の耕作地へ出没と被害が移動
	その他特記事項	
農家の方からのコメント	<p>防護柵が全面終わらないので、被害が収まらない。 捕獲しても、増加に追いついていないのではないかと。 イノシシの捕獲は素人には難しい。</p>	

4 これからの課題

失敗した事柄	<p>狩猟免許の取得者は増加したが、捕獲従事者の増加に結び付かなかった。 大型獣の捕獲は、初心者にはなかなかハードルが高い。</p>
これからの課題	<p>猟友会や地域からは何とかシカ肉を有効に活用したいとの意向があるが、施設整備と市場開拓が課題 当面、精肉としての利用は諦めて、調理済み食品の提供に絞って検討</p>

5 成功に至ったポイント

野生鳥獣被害対策支援チーム	
---------------	--

6 問合せ先

上小地区野生鳥獣被害対策チーム 電話 0268-25-7137(林務課直通)

メール josho-rimmu@pref.nagano.jp

